

Ⅲ期（一般、社会人、学内）

受験 番号		氏 名	

令和 8 年度

武蔵野大学大学院 言語文化研究科 言語文化コース 入学試験問題・解答用紙 （3 月 8 日）

〔 小論文 〕

評	点

以下の 4 つの設問から 1 つ選び、1000 字程度で論じなさい。
なお、問題・解答の余白をメモに使っても構いません。

1. 日本語教育においても、情報通信技術（ICT： Information and Communication Technology）を活用した「反転授業」が実践されるようになっている。①「反転授業」とは、どのような授業なのか（定義）、②反転授業において、どのように ICT を使うのか、③日本語教育において具体的にどのような実践が可能か、以上の 3 点について論じなさい。
2. 任意の言語を 1 つ選び、その言語における丁寧表現の具体例を挙げ、Brown & Levinson のポライトネス理論の観点から分析しなさい。その際、その言語特有の丁寧表現の特徴や傾向に触れるとともに、理論だけでは説明しきれない使用上の難しさや分析上の課題についても考察しなさい。
3. マイクロアグレッションとは何か、その定義と特徴を説明しなさい。また、異文化間のコミュニケーションにおいてどのような影響を与えるか、自身の経験や想定される事例を交えて論じなさい。さらに、マイクロアグレッションの無自覚性をどのように考えるべきかについても考察しなさい。
4. 翻訳において「忠実さ（fidelity）」という概念はしばしば用いられるが、その定義は時代や文脈によって変化してきた。日中翻訳を対象に、忠実さの概念がどのように理解され、どのように翻訳実践に影響を与えてきたかを具体的な例を挙げながら論じなさい。

<メモ用余白>

Ⅲ期（一般、社会人、学内）

選択問題番号()

受験番号

氏名

This image shows a full page of graph paper. It features a uniform grid of small squares. On the right edge, there is a vertical axis with numerical labels starting at 100 and increasing by 100 up to 1100. These labels are positioned outside the main grid area. The rest of the page is filled with the grid pattern, providing a space for drawing or plotting.